

京都大学大学院工学研究科の組織に関する規程新旧対照表

改正前	改正後
<p>(前 略)</p> <p>(専攻及び講座)</p> <p>第4条 工学研究科の専攻及び講座は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>社会基盤工学専攻 応用力学講座、地殻工学講座、構造工学講座、構造材料学講座、地盤・水工学講座</p> <p>都市社会工学専攻 都市基盤システム工学講座、都市社会計画学講座、交通マネジメント工学講座、ライフライン工学講座、社会基盤マネジメント工学講座</p> <p>都市環境工学専攻 地殻環境工学講座、環境デザイン工学講座、都市空間工学講座、居住空間学講座、環境情報学講座、ウォーターフロント環境工学講座、複合構造デザイン工学講座、環境システム工学講座、環境衛生学講座、ジオフロント環境工学講座、総合環境学講座、環境材料学講座、環境構成学講座</p> <p>建築学専攻 建築保全再生学講座、人間生活環境学講座、建築史学講座、建築構法学講座、建築環境計画学講座、建築設計学講座、建築構造学講座、建築生産工学講座</p> <p>機械理工学専攻 機械システム創成学講座、生産システム工学講座、機械材料力学講座、流体理工学講座、物性工学講座、機械力学講座</p> <p>マイクロエンジニアリング専攻 構造材料強度学講座、ナノシステム創成工学講座、ナノサイエンス講座、マイクロシステム創成講座</p> <p>航空宇宙工学専攻 航空宇宙力学講座、航空宇宙基礎工学講座、航空宇宙システム工学講座</p> <p>原子核工学専攻 量子ビーム科学講座、量子物質工学講座、核エネルギー工学講座</p> <p>材料工学専攻 材料設計工学講座、材料プロセス工学講座、材料物性学講座、材料機能学講座</p> <p>電気工学専攻 複合システム論講座、電磁工学講座、電気エネルギー工学講座、電気システム論講座</p> <p>電子工学専攻 集積機能工学講座、電子物理工学講座、電子物性工学講座、量子機能工学講座</p> <p>材料化学専攻 機能材料設計学講座、無機材料化学講座、有機材料化学講座、高分子材料化学講座</p> <p>物質エネルギー化学専攻 エネルギー変換化学講座、基礎エネルギー化学講座、基礎物質化学講座、触媒科学講座</p> <p>分子工学専攻 生体分子機能化学講座、分子理論化学講座、量子機能化学講座、応用反応化学講座</p>	<p>(専攻及び講座)</p> <p>第4条</p> <p>(同 左)</p> <p>機械理工学専攻 機械システム創成学講座、生産システム工学講座、機械材料力学講座、流体理工学講座、物性工学講座、機械力学講座、<u>バイオエンジニアリング講座</u></p> <p>(同 左)</p> <p>材料工学専攻 材料設計工学講座、材料プロセス工学講座、<u>先端材料物性学講座</u>、材料物性学講座、<u>先端材料機能学講座</u>、材料機能学講座</p> <p>(同 左)</p>

改 正 前	改 正 後
<p>高分子化学専攻 先端機能高分子講座、高分子合成講座、高分子物性講座</p> <p>合成・生物化学専攻 有機設計学講座、合成化学講座、生物化学講座</p> <p>化学工学専攻 環境プロセス工学講座、化学工学基礎講座、化学システム工学講座</p> <p>2 前項に掲げるもののほか、工学研究科に協力講座を置くことができる。</p> <p>3 協力講座に関し必要な事項は、教授会の議を経て研究科長が定める。</p> <p>(後 略)</p>	<p>(同 左)</p> <p>附 則 この規程は、平成20年4月1日から施行する。</p>